

# 令和4年度 第10回 辻堂まちづくり会議 次第

日時 2023年1月26日(木) 13:30~15:00

会場 辻堂市民センター ホール

## 1 前回会議議事録の確認について

## 2 議 題

### (1) 部会等報告について

- ア 暮らし安心・安全部会 (1/12)
- イ 辻堂交流部会 (1/12)
- ウ 福祉部会 (1/19)
- エ 広報委員会 (1/19)

### (2) 地区全体集会について (2月12日(日) 午後2時~4時)

### (3) 地域団体からの活動報告

- ア 辻堂地区老人クラブ連合会 (片桐委員)
- イ 辻堂商店会連合会 (中野委員)

## 3 その他

## 4 今後の予定

- 駅前掲示板作業 2月 1日(水) 辻堂交流部会 2人
- 辻堂朝市 2月9, 23日(木) 福祉部会 3人
- 全体集会 2月12日(日) 13時集合 14時~16時
- 防災講演会 2月25日(土) 10時開演
  
- 辻堂交流部会 2月 2日(木) 10時00分~
- 広報委員会 2月 9日(木) 9時30分~
- 暮らし安心・安全部会 2月 9日(木) 13時30分~
- 福祉部会 2月 9日(木) 13時30分~
- 第11回辻堂まちづくり会議 2月16日(木) 13時30分~

以 上

## 令和4年度 辻堂まちづくり会議 委員名簿

任期：2022年4月1日～2024年3月31日

No.	氏名	役職	部会	委員会	団体名又は公募
1	赤塚 商蔵		くらし安心・安全		辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
2	山田 泰司	部会長	くらし安心・安全		辻堂地区社会福祉協議会
3	齋間 道雄		くらし安心・安全		辻堂地区青少年育成協力会
4	和田 今日子		辻堂交流		辻堂地区交通安全対策協議会
5	吉田 紀行		辻堂交流		辻堂地区生活環境協議会
6	橋本 美知子		くらし安心・安全		辻堂地区防犯協会
7	小川 雄二郎	副会長	くらし安心・安全	広報	辻堂地区防災協議会
8	近藤 眞由美		福祉		辻堂東地区民生委員児童委員協議会
9	秋葉 誠		くらし安心・安全		辻堂西地区民生委員児童委員協議会
10	伊藤 和子	副会長	福祉	広報	辻堂公民館評議員会
11	鷹野 三枝子		くらし安心・安全		高浜地域子ども支援会議
12	大橋 洲二		福祉		浜見地区社会体育振興協議会
13	中野 由紀子		辻堂交流		辻堂商店会連合会
14	片桐 賢		辻堂交流		辻堂地区老人クラブ連合会
15	松尾 良子		福祉		ネットワーク湘南堂夢
16	富田 直樹		福祉		辻堂東地区いきいきサポートセンター
17	高野 拓弥		福祉		辻堂西地区いきいきサポートセンター
18	北野 範之		福祉		辻堂地区ボランティアセンター
19	山下 美波		福祉		西南部障がい者地域相談支援センター
20	吉田 秀樹		辻堂交流		公募
21	尾崎 文彦	会長	—	広報	公募
22	秋山 正行	副会長／部会長	辻堂交流	広報	公募
23	久保田 恵	委員長	辻堂交流	広報	公募
24	池本 茂男	部会長	福祉		公募
25	堀川 輝夫		辻堂交流		公募
26	千葉 郁世		辻堂交流		公募
27	鶴田 智博		辻堂交流		公募
28	芳山 久美子		辻堂交流		公募

### 【事務局】

No.	氏名	役職	担当
1	加藤 財英	センター長	統括、全体会議◎、福祉
2	中丸 光江	主幹	全体会議◎、くらし安心・安全、辻堂交流、広報
3	山出 峰士	上級主査	全体会議◎、広報◎
4	若山 瞭太	主任	全体会議、辻堂交流、広報
5	新倉 孝幸	上級主査	くらし安心・安全◎
6	片山 雄貴	主任	辻堂交流◎
7	守谷 千楓音	担当	福祉◎
8	宮木 千春	担当	広報
9	二宮 寿美香	担当	くらし安心・安全

※◎ 主担当

日時	2022年12月15日(木) 13:30~15:30		
場所	辻堂市民センター ホール		
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 齋間委員 <input type="checkbox"/> 橋本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鷹野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 片桐委員 <input checked="" type="checkbox"/> 高野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(秀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 堀川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 芳山委員	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input type="checkbox"/> 赤塚委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 近藤委員 <input type="checkbox"/> 大橋委員 <input checked="" type="checkbox"/> 松尾委員 <input type="checkbox"/> 北野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員 <input type="checkbox"/> 千葉委員	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 山田委員 <input type="checkbox"/> 吉田(紀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 秋葉委員 <input type="checkbox"/> 中野委員 <input type="checkbox"/> 富田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 池本委員 <input type="checkbox"/> 鶴田委員
事務局	<input type="checkbox"/> 加藤センター長 <input type="checkbox"/> 新倉	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 片山	<input checked="" type="checkbox"/> 山出 <input checked="" type="checkbox"/> 守谷 <input checked="" type="checkbox"/> 若山
議題等	第一部 1 災害復興に向けた事前取組について 第二部 1 前回会議議事録の確認について 2 議題 (1) 部会等報告について 暮らし安心・安全部会(12/8)、辻堂交流部会(12/1)、福祉部会(12/8) 広報委員会(12/8) (2) 地域団体からの活動報告 ア 辻堂地区交通安全対策協議会(和田委員) イ 高浜地域子ども支援会議(鷹野委員) 3 その他 4 今後の予定		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市都市計画課資料(復興の事前取組について)</li> <li>・令和4年度辻堂まちづくり会議委員名簿</li> <li>・第8回辻堂まちづくり会議議事録</li> <li>・第8回暮らし安心・安全部会議事録</li> <li>・第8回辻堂交流部会議事録</li> <li>・第8回福祉部会議事録</li> <li>・第8回広報委員会議事録</li> <li>・令和4年度辻堂地区交通安全対策協議会事業計画</li> <li>・三者連携ふじさわ</li> </ul>		
傍聴者	2人		

## 【議事録】

(進行 中丸主幹)

○開会前確認

- (1) 会議の成立に関する報告
- (2) 資料の確認
- (3) 会議進行の確認
- (4) 傍聴の取扱いについて

(進行 尾崎会長)

## 第一部

### 1 災害復興に向けた事前取組について

- ・市都市計画課から資料に沿って説明を行った。

#### 【質疑応答】

- ・1点目、資料3番で3.5万人と言われていたが、聞き漏らしたのでもう一度説明してほしい。2点目、資料10番中の「南海トラフ地震(30年発生確率70%)」の30年について、これから30年以内に…と言われ始めて5年以上は経っているので、あと25年ということか。3点目、緊急一時避難施設はあるのか。(山田委員)  
→1点目については、東日本大震災が発生した時点での避難者が約47万人いらして、令和4年4月時点でもまだ約3.5万人いるということ。2点目、3点目については、後日、事務局を通じて回答する。(市都市計画課)
- ・資料9、10番の凡例の浸水深の色が違っているが、同一資料に載せる場合は同じ色に合わせた方が、市民にはわかりやすい。(秋葉委員)  
→検討する。(市都市計画課)
- ・市民が被災した時どうすればよいのか考えておくことはよいこと。この取組は、いつごろまでに、どのように、どのような単位で作るのか、イメージを示してもらえるとありがたい。復興の力をつけることは重要。都市マスタープランとの整合性はどのように確保するのか。市民にまちづくりも考えてと丸投げしては、この取組は絵空事に終わってしまう。取組の趣旨はよいと思うが、そのような心配もある。(小川副会長)
- ・東海道線の南側に住む者は、避難場所に困っている。地震があった時、海の方に避難することは考えにくいだが、線路の近くに避難できる場所がない。(堀川委員)
- ・資料最後の「おわりに」にあることについて、我々はどうしたらよいのか。(山田委員)  
→まずは周知活動として今回の機会をいただいた。復興準備計画を策定するにあたって、地域の方と話したり意見をお聞きしたりしながら、準備計画というものを備えておきたい。(市都市計画課)

## 第二部

### 1 前回会議議事録の確認について

- ・資料のとおり

### 2 議題

- (1) 部会等報告について

・くらし安心・安全部会（12/8）

→山田部会長から資料のとおり説明があった。

（補足説明）

- ・チリリン・スクールは、実際は小学3，4年生を対象にしている。
- ・11月1日に自転車安全利用五則が変わった。
- ・自転車マナーアップ勉強会は、今後、交通安全対策協議会と話し合っって開催する。

【意見等】

- ・まち歩き安全マップづくりへの意見などは、辻小にはいつ伝えるのか。（吉田（秀）委員）

→協力された方々の意見は次回反映してもらおう。（山田部会長）

→自分たちが歩いて気付いた点や、展示した安全マップを見た感想も含めて、意見として出した方がよいのではないか。（小川副会長）

→安全面に関する事と安全マップづくりの運営に関する事について、整理してください。（吉田（秀）委員）

- ・自転車マナーについて、車を運転する人も自転車のルールを知ることが必要。（吉田（秀）委員）

→自転車に乗る人も、車を運転する人にも、ルールを知ってもらいたい。（山田部会長）

→タクシーの運転手でさえ、自転車のルールを知らない人がいる。（齋間委員）

→自転車のルールについては、あいまいな部分が多くある。（山田部会長）

- ・交通事故マップについて、過去1年間の辻堂地区の交通事故発生場所を図面化し、少し大きなボードに貼った。ご覧いただいて、どのように直したらよいかと同時に、どこに配ったら役に立つのかなど、ぜひご意見を伺ってよいものにしていきたい。過去5年間のデータをもらえるので、ぜひ作っていきたい。（小川副会長）

- ・熊の森の静岡銀行前にガードレールができて、自転車が通りにくくなり、マナーが少し守られるようになった。（伊藤副会長）

・辻堂交流部会（12/1）

→秋山部会長から資料のとおり説明があった。

- ・12月13日（火）に実施した辻堂まちづくり会議・辻堂地区生活環境協議会合同勉強会は28人の参加だった。

【意見等】

- ・合同勉強会の参加者は28人とのことだが、オンライン参加はあったのか。（山田委員）  
→オンラインは行っていない。（事務局）

- ・マイクロプラスチックを少しでも止める対策などはできるのか。（池本委員）

→坂本先生のお話にもあったが、個人個人が日々の中で行うゴミの分別や清掃活動に加え、そういった活動の啓発など、できることを実践していくことが大切。（事務局）

→今、事務局が答えたことこそ、我々が議論していくもの。（尾崎会長）

- ・市民から①美化キャンペーンを別の場所ではやらないのか、②朝市の開催時間をもう少し遅くならないか、という声をいただいた。(伊藤副会長)
- ・美化キャンペーンの回覧チラシには、雨天時中止のみの記載で、延期については何も書いていない。(山田委員)
- 今後は見落とさないようにしていく。(秋山部会長)

・福祉部会 (12/8)

→池本部会長から資料のとおり説明があった。

- ・「AEDマップについて」を「AEDをいかす活動について」に名称変更する。
- ・救急救命講習とAEDマップアプリを普及させる講習会を、まずはまちづくり委員を対象に行いたい。有力な候補日である3月2日に実施する場合の午前と午後の参加人数を確認したところ、午前が多かったので、候補日として調整する。

【意見等】

- ・AEDの機械や講師は多い方がよいので、手配をしてください。(秋山部会長)
- ・救急救命講習をなぜまちづくり委員が受けるのか。(山田委員)
- 初めは一般の方を対象にしようと考えたが、まちづくり委員でも講習を受けたことがない人がいるので、まずは足元を固めようと考えた。(伊藤副会長)

・広報委員会 (12/8)

→久保田委員長から資料のとおり説明があった。

- ・全体集会を2月12日(日)午後2時から4時まで実施する。対面とオンラインのハイブリッドで行う。委員全員の参加をお願いしたい。
- ・委員の意欲向上を図るために、カルタづくりの試作を委員にお願いする。配付した試作用カルタの用紙2枚に、読み札とその絵札を書いて、1月の各部会で提出する。1月の全体会議で発表する。
- ・「辻堂まちづくり会議だより」の原稿作成をお願いする。

◎原稿提出〆切 2023年1月10日(火)

レイアウト	記事内容	担当
1面(表紙)	辻堂駅3車線化(原稿+写真)	くらし安心・安全部会
2~3面(中面)	事業紹介(原稿+写真) ※字数は vol.12 と同程度	各部会
4面(裏面)	新任公募委員紹介 字数50~60字程度 ※レイアウトの都合で掲載できない可能性あり	新任公募委員

## (2) 地域団体からの活動報告

- ・辻堂地区交通安全対策協議会の活動報告を資料の事業報告を基に和田委員から説明があった。役員会のほかに、47自治会の交通安全部長さんも集まる地区推進会議を年4回ある交通安全運動に合わせて開催していて、辻堂地区の交通安全について活発な意見が飛び交っている。交対協でも自転車マナー向上の取組について議論しているので、まちづくり会議とも一緒に進めていきたい。また、駅前での街頭キャンペーンも今年度から再開しているのので、来年度からはまちづくり会議の参加も再開していただきたい。
- ・高浜地域子ども支援会議の活動報告を三者連携ふじさわリーフレットを基に鷹野委員から説明があった。平成12年度から活動が始まった。先週12月10日(土)に主催事業の「ボッチャ体験会」を開催した。まちづくり会議とは、美化キャンペーン、辻堂ストリートギャラリープロジェクト、辻堂さんぽを共催している。

## 3 その他

- ・来年4月の統一地方選挙の期日前投票において、立会人の協力をお願いした。(事務局)

## 4 今後の予定

- ・みんなで美化キャンペーン

ポケットパーク 12月17日(土) 8時50分集合

湘南ニコニコロード 12月20日(火) 13時15分集合

- ・駅前掲示板作業 12月28日(水) 暮らし安心・安全部会2人
- ・辻堂朝市 1月12, 26日(木) 暮らし安心・安全部会3人
- ・絵ほん語り公演 1月15日(日) 14時開演

- ・辻堂交流部会 1月12日(木) 10時～
- ・暮らし安心・安全部会 1月12日(木) 13時30分～
- ・広報委員会 1月19日(木) 9時30分～
- ・福祉部会 1月19日(木) 13時30分～
- ・第10回辻堂まちづくり会議 1月26日(木) 13時30分～

以 上

## 令和4年度 第9回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2023年(令和5年)1月12日(木) 13:30~15:55

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 山田部会長、赤塚委員、齋間委員、小川委員、秋葉委員、鷹野委員  
事務局: 中丸主幹、新倉、二宮

### (議題等) 1 報告

#### (1) 辻堂地区交通問題事業について

- ・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(道路河川総務課)

#### (2) 辻堂地区交通問題事業について

- ・三車線化の交通量調査実施結果について(道路整備課)

### 2 今後の取組について

#### (1) 「公民館まつり」で出された意見について

#### (2) 防災講演会について

#### (3) 道路問題について

#### (4) 自転車マナーの改善について

#### (5) その他

### 3 その他

## 〈議題〉

### 1 報告

#### (1) 辻堂地区交通問題事業について

- ・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について(道路河川総務課)

道路河川総務課から藤沢厚木線(辻堂工区)の説明をいただいた。また、年度末(3月)の全体会議で途中経過の報告をいただくことになった。

#### 【内容】

##### ①自治会町内会の区域について

##### ②学区・通学路について

それぞれ重ね図をもとに説明があり、課題について話し合いを行った。

#### 【意見等】

- ・地図に藤沢厚木線とは関係のない都市計画道路が記載されているのはなぜか。  
→計画道路としては、現在も残っていることから地図上に表示している。
- ・学区の問題は歩道橋を設置したら解決すると思う。
- ・住民説明時には、計画道路を点線で記載するなど、わかりやすい表示にしてほしい。
- ・アンケート調査をすると、道路の話がたくさん出てくる。「道路が狭い」、「渋滞する」などの声が多くあがるので、できるだけ早く進めてほしい。
- ・防災の観点からいうと早く進めてほしい

#### (2) 辻堂地区交通問題事業について

- ・三車線化の交通量調査実施結果について(道路整備課)

道路整備課から三車線化の交通量調査実施結果について報告があった。

#### 【内容】

- ① 辻堂駅方面から国道1号方面に向かう右折車が渋滞していると、辻堂駅方面から東町方面に向かう車両も渋滞に巻き込まれていたが、改良後は、右折レーンの延伸により駅方面から右折車が渋滞していても駅方面から東町方面に向かう車両がスムーズに移動できている状況が確認できた。
- ② 一方で、辻堂海岸方面から国道1号方面に向かう車両が渋滞していると、駅方面から国道1号方面に向かう車両が通行できない状況は以前より発生したままで解消できていない。

#### 【意見等】

- ・辻堂駅から浜見山交差点方面のバスに乗るが、最近は渋滞で待っていることがなくなりスムーズに行けている。辻堂駅方面から東町方面に向かう車両のみだけでなく、浜見山交差点方面にも効果ありと言える。
  - ・警察と話をしているとのことだが、信号の位置、時間、順番の問題をさらに話に加えてほしい。
- 信号関係の変更については、1台のみ変更すればよいというわけではなく、歩行者信号との関連もあり、周辺を広範囲で変える必要があることから簡単ではないとの回答。

## 2 今後の取組について

### (1) 「公民館まつり」で出された意見について

- ・くらし安心安全部会に割り振られた「気になるところ」について、各委員から意見をいただいた。

#### 【意見等】

- ・道路問題について渋滞や道路が狭いなどの意見が多く、すぐにできることではないが少しでも早く藤沢厚木線の工事を進めてほしいなどの要望を出してはどうか。
- ・渋滞について災害時に緊急車両が出動できなくなることが大きな問題であると思うが、道路問題で区画整理等しなければ改善しないので難しい。道路の狭さについてはガードレールを設置するだけでも違うのではないか。ガードレールがあるだけで、歩いていて安心できる。
- ・自転車の歩道走行について自転車走行可の歩道と不可の歩道がわかっていない人が多く、誰が見ても分かるような表示を出して知らせることができるのではないかと。
- ・街路灯が少なく暗い。あるいは、少ない。といった意見があるが、そんなに少ないとは思えない。
- ・地中化の問題については当部会で話し合うことではないと思う。
- ・交通渋滞や狭隘道路等については、都市構造にかかる問題だと思う。くらし安心安全部会が、直接課題解決することができないことも地域の課題として、くらし安心安全部会が、行政に対し注視するとともに時には意見することも必要だと思う。
- ・OK前の交差点の課題については、過去のことなのか、現状のことなのか。現状これ以上できないと思うが、今後も注視していかないといけない。
- ・カーブミラーについて現時点で多いくらい設置されていると思う。多ければ安全ということではなく、便利な面もあるが危険な面もある気がする。

- ・道路問題については行政に任せ進めている部分もある。まちづくり会議でできる問題ではないと思う。
- ・カーブミラーについては海浜公園通りだけを見ると、お店が変わったり、人の混雑が以前と変わりカーブミラーを新たに設置してほしいとの声もあるため見直す必要があると思っている。
- ・舗装については当部会で取り組んでいく。
- ・休憩所については海浜公園通りにあれ以上ポケットパークを作る場所はないと思う。
- ・バスの便については便が廃止した経緯を知りたい。

→事務局で経緯などバス会社に確認する。

- ・大型エレベーターについては自転車が乗せられるものはないのでなんとか進めていきたい。
- ・街路灯については東日本大震災の計画停電以降、節電の関係か暗いままである。

## (2) 防災講演会について

- ・資料のとおり事務局から説明。当日の従事者を決定した。  
会場準備：秋葉委員、鷹野委員  
受 付：齋間委員  
司 会：伊藤副会長

## (3) 道路問題について

- ・本日の午前中に道路等の不具合を確認し、委員自身がLINE通報を体験した。今後については、年度末もしくは次年度に向けて回覧チラシの作成をめざす。

### 【意見等】

- ・個々に通報、まとめて通報どちらがよいのか。また、対応は変わるのか。
- ・すでに知っている自治会はLINE通報を活用しているので、自治会・町内会宛てもしくは、地域回覧等で周知した方がよいと思う。

## (4) 自転車マナーの改善について

- ・事務局から説明。1/10(火)に辻堂地区交通安全対策協議会と打ち合わせを行い、共催で事業実施していくことで決定した。

→日程については参加対象者が団体委員ということから警察と調整のうえ、2～3月の平日開催の方向で進めていく。

### 【意見等】

- ・JR線沿いの自転車通行帯は、高砂小、高浜中前の歩道と同じである。
- ・説明時には、どこのことを言っているのかわかるように、現地の写真を用意したほうが良い。
- ・ヘルメット着用についてはどうするか。

→ヘルメット着用については4/1からであるが、「着用努力義務」となっていることから、今回は実施内容としない。

(5) その他

- ・統一地方選挙等における期日前投票立会人の選出について協力いただける方を確認した。
- 4/19（水）8時30分から14時15分：小川委員

3 その他

- ・特になし。

以 上

**【次回部会日程】**

日時：2023年(令和5年)2月9日(木)  
13:30～15:00

令和4年度辻堂地区防災講演会

入場無料



# 富士山はいつ噴火するのか？



火山のメカニズムって？  
辻堂にも影響はあるの？

講師：<sup>まんねん</sup> 万年 <sup>かずたか</sup> 一剛 氏

神奈川県温泉地学研究所 主任研究員



日時 2023年2月25日（土）  
午前10時～12時（開場9時30分）

会場 辻堂市民センター3階ホール（定員60人、申込先着順）  
同時オンライン開催（定員なし）

※新型コロナウイルス感染状況により、オンライン開催のみとなる場合があります。  
※お車でのご来場はご遠慮ください。

申込 2月7日（火）から24日（金）までにお申し込みください。

## 会場視聴申込

電子申請もしくは電話、来庁にて承ります。  
電子申請は、下の2次元コードからお申し込みください。（定員60人）  
※定員になり次第受付を終了いたします。



会場視聴用

## オンライン視聴申込

電子申請にて承ります。  
電子申請は、下の2次元コードからお申し込みください。  
※定員はありません。



オンライン視聴用

申込み・お問い合わせ

辻堂市民センター 地域づくり担当

電話 0466-34-8661

※電話、来庁は平日午前8時30分～午後5時



昨年の防災講演会の様子もHPで公開しています。

詳しくは、「辻堂地区防災講演会」と検索！！

共催

辻堂地区防災協議会

辻堂まちづくり会議

辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会

## 令和4年度 第9回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2023年(令和5年)1月12日(木) 10時~正午

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 1 委員 …和田委員、吉田(紀)委員、中野委員、片桐委員、吉田(秀)委員、  
秋山部会長、久保田委員、千葉委員、  
2 事務局 …中丸主幹、若山主任、片山主任

(議題等) 1 実施事業の結果報告  
2 湘南工科大学授業参加協力について  
3 辻堂写真館について  
4 辻堂ストリートギャラリープロジェクト  
5 辻堂さんぽ  
6 令和5年度スケジュール(案)  
7 その他

(議題)

### 1 実施事業の結果報告

12月に実施した事業(合同勉強会、みんなで美化キャンペーン、辻堂ストリートギャラリープロジェクト(ポケットパーク)、辻堂さんぽ)について、次回の部会にて振り返りを実施するので、本日配布した結果報告資料を読み、自身が参加して気づいたことを含め、振り返った内容を整理しておくよう依頼した。各自が振り返った内容は1月の全体会議(1月26日)までに事務局へ提出することとなった。

なお、辻堂さんぽのアンケートの集計結果については現在集計中のため、追って資料をお渡しすることとした。

### 2 湘南工科大学授業参加協力について

次回の開催(1月23日)の参加者を決定した。

参加者: 秋山部会長、久保田委員、千葉委員

### 3 辻堂写真館について

第7回若い季節の追加募集によって、事務局に3件、秋山部会長のところに5件の写真が集まった。応募が少なかったことを受け、再募集を含め企画の練り直す提案もあったが、現時点で集まっている写真を使って十分な展示物が制作できることと、写真提供者に開催時期を周知しながら集めていることの2点を踏まえて、今回はそのまま実施し、改善点は次回以降の企画へ活かすこととなった。

#### 【実施にかかる役割分担】

- ・チラシ原稿・展示物原稿の作成: 秋山部会長
- ・展示物の校正: LINEグループ参加委員

- ・展示作業：和田委員、片桐委員、秋山部会長、久保田委員、千葉委員

#### 【反省点及び改善点】

- ・年末年始をまたぐ写真の募集は応募しにくい。
- ・転入者・転居者が多くいる中で、辻堂の過去ありきの募集では条件が厳しい。現在辻堂に在住の方であれば、以前住んでいた他市、他地区の写真でもよいのではないか。
- ・次回の企画のPRを今回の展示物と一緒に掲示し、紹介してはどうか。
- ・現在は年4回の開催だが、年2回の開催にして念入りな広報・募集をしてはどうか
- ・センター2階の廊下以外にも展示してはどうか。  
→交流スペースは白浜養護学校の作品展示で2週間程度の期間限定だが実施実績がある。  
センター内の壁には画鋸を刺さないのが運用ルールなので、パネルの設置ができる場所などで検討する必要がある。
- ・チラシをもっとたくさん掲示してはどうか。鶴沼市民センターはセンター内に多くのチラシを掲示していることで、利用者へ親近感がわく雰囲気がある。新しい建物をきれいに使うという考え方も良いが、利用者に親しんでもらえるようにすることも大切ではないか。  
→今は廊下の展示スペースに空きがあるが、来年度は公民館のサークル作品の展示など、利用者により親しみを持ってもらえる企画を予定している。今後も検討していきたい。
- ・秋山部会長以外の委員も各地へ取材し、写真を集めるべきではないか。
- ・展示内容に関連する物品の展示でレトロ感を出してはどうか。
- ・鑑賞してくれた方からの意見を集める意見箱\*を近くに設置できないか。  
※辻堂写真館に限らず、現在実施している高砂小学校の展示等にもコメントできるとよい。

#### 4 辻堂ストリートギャラリープロジェクト

次回の子どもにまつわるテーマについて、湘南工科大学授業参加協力にて「俳句 in 辻堂」、「辻堂水族館」といったテーマが挙げられたが、応募するために作品を制作することを想定すると応募しにくい内容であること、また、絵や俳句はフラッグにせずともそのまま作品を展示できてしまうことが課題となった。この2つの問題を解決すべく、これまで子どもが学校などで制作し、手元に残っている（写真で残っている）作品を俳句や生き物の絵にこだわらず対象とし、そういった作品を1人から数点集めフラッグに集約することで、フラッグ1つ1つが応募者の作品展になるような企画にしていくこととなり、テーマを「わが子の作品展」として公募することとなった。

今後のスケジュールを確認し、チラシは和田委員から公募する作品のイメージ画像を提供いただいて、事務局が作成することとなった。

#### 【その他検討項目・意見】

- ・子どもとは何歳までと定義するか→年齢に制限は設けず、より広い範囲へ募集したい。
- ・俳句について3者連携の会議で学校に聞いたが、現在は必修科目ではなく、履修するかは担当教員次第になっている。履修する場合は夏休みなどの休暇で課題として出すことが多い  
→子どもが俳句を作るのが難しいようなら、親子企画にして親が俳句を作り、子どもが絵を描くのはどうか。

- ・俳句から派生させて辻堂大喜利を集めるのも面白いのではないかと。

## 5 辻堂さんぽ

春も開催をすることとなり、スケジュール案を修正しながら、実施時期や近々すべきことを次のとおり整理した。また、2月の部会にて秋の実施結果振り返り後、各委員の役割分担を決め、動き出すこととなった。

- ・実施時期：4月20日（木）～5月22日（月）  
→広報ふじさわ4月10日号に合わせてチラシを全戸配布。
- ・景品の調達、協賛企業の募集  
→中野委員から辻堂地区商店会連合会に呼びかけていただく。協賛するか判断材料になるように参加者の実施結果をまとめる。
- ・クイズ  
→好評だったので、春の開催も用意する。すでに和田委員のほうで13問のクイズ案ができている。クイズで協賛企業のPRをする。

## 6 令和5年度のスケジュール（案）

来年度も今年度同様に実施予定の事業については、実施時期の確認を行った。令和5年度新規事業である「子ども向けSDGs事業」については、映画鑑賞会、サップ体験、ワークショップの開催順序や時期を各委員で考え、次回の部会で議論することとした。また、今年度実施を見送った「子ども回覧板」については、実施できるかと、実施する場合の企画案を各委員で考えることとなった。考えた結果については、1月の全体会議までに事務局へ提出し、2月の部会で資料として全員が共有できるようにすることになった。

## 7 その他

- ・シン辻堂カルタの回収
- ・今後の予定の確認  
辻堂朝市 1月13日（木）、27日（木）※担当部会：くらし安心安全部会  
1月全体会議 1月26日（木）：13時30分～15時00分
- ・選挙の立会人  
次のとおりご協力いただけることとなった。  
4月19日（水）8：30～14：15 → 対応できる委員がいなかった  
4月22日（土）14：15～20：00 → 千葉委員

以上

### 【次回部会日程】

日時：2023年2月2日（木）

10時～11時30分頃

会場：辻堂市民センター 第一談話室

# 書道でアート展



「書道」という1つのアートが、別のアート作品に生まれ変わるとどうなるか…想像できますか？

今回の企画は、お子様<sup>※1</sup>の書道作品を写真に撮ってご応募いただき、湘南工科大学協力のもと、新たな別のフラッグアートを制作して湘南ニコニコロード<sup>※2</sup>に掲出します！

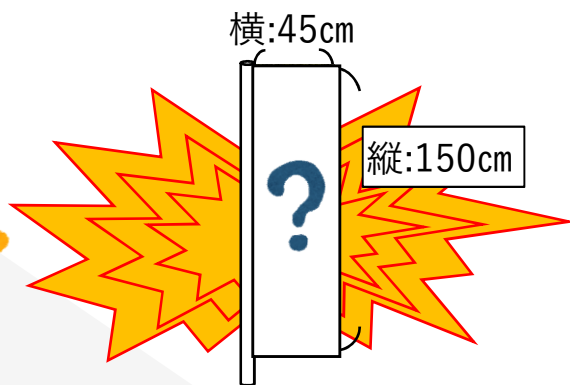
制作したフラッグアートは、掲出期間終了後、記念品としてお渡しいたします。書道作品を全く別のアートとして、2度楽しみませんか？

※1 18歳以下の方を対象にします。作品制作者の同意のもとご応募ください。

※2 湘南ニコニコロードは高砂小、高浜中、浜見小、白浜養護学校の間の道です。



お子様の書道作品が…



新たな作品に大変身！

応募期間 **2023年2月10日(金)～2月28日(火)**

応募方法 メールに応募者氏名をご記入のうえ、写真をデータでお送りください。

※応募は一人1点のみとします。

※写真のサイズは15MB以内でJPG形式でお送りください。

※応募多数の場合は選考し、展示作品を決定します。

※採用結果は、3月中旬にご応募いただいたメールアドレスにご連絡いたします。

※応募先のメールアドレスは、[fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp](mailto:fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp)になります。



【主催】辻堂まちづくり会議  
【協力】湘南工科大学 総合デザイン学科  
【問合せ】辻堂市民センター 地域づくり担当  
電話(0466)34-8661  
メールfj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp



← 前回の企画はコチラ

## 令和4年度 第9回 辻堂まちづくり会議福祉部会 議事録

(開催日時) 2023年(令和5年)1月19日(木) 13:30~15:00

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 近藤委員、伊藤委員、松尾委員、高野委員、富田委員、山下委員、池本委員、尾崎委員

(事務局) 辻堂市民センター 加藤、守谷  
地域共生社会推進室 宮治、佐藤

(議題等) 1. 福祉部会の今後の取組について  
2. その他

〈議題〉

### 1. 福祉部会の今後の取組について 事業予定表に基づき協議を行った。

#### (1) 絵ほん語り公演について

1月15日(日)に開催予定であった絵ほん語り公演について、延期となった旨を報告した。会場の確保を考えると、今年度中の開催は難しいことから、来年度夏頃の開催を検討していくこととなった。また周知方法について、ちらしを小学校で配布してもらうなど、子どもも参加してもらえよう工夫したい。

#### (2) 障がいのある方対象 防災訓練について

1月16日(月)に、自閉症児・者親の会所属の方向けに行った、辻堂市民センター内の見学会について報告した。今後障がいのある方の様々な団体を対象に、今回と同じような機会を設け、福祉避難所の充実に向けた検討を進める。

### 【意見等】

- ・当日参加された保護者の方からは、「見学の機会を設けてもらえてよかった」との声が多く挙げられた。
- ・日頃から災害時の相談ができる場所や機会が必要との意見が出ているが、CSWの相談窓口のようなイメージか？  
→「つむぎ」の窓口では、障がいのある方の生活の相談を行っており、防災に関しても相談があれば受けている。もし相談を受けた際には、災害時どうするかを当事者と一緒に考えている。
- ・災害について相談できる窓口を設けるには、人手も必要になると思うが、専門的な知識やスキルが必要になるのか？  
→当事者やご家族の気持ちを理解し、ともに防災を考えることはできるが、自分たちの知識や経験だけでは足りない部分がある。より実際の災害時を考えるには、地域の方や、防災知識を持つ方の助けが必要になる。

- ・認知症サポーター養成講座を受講するとオレンジリングがもらえるように、防災の講座を行い、受講したしるしを実際の災害時に着用することで、相談相手や手助けを求めることができるものを作成してはどうか。講座の受講が防災訓練の一環にもなると思う。
- ・屋上までの避難経路に、矢印などで順路が示されていると、障がいのある方でもわかりやすいとの意見があった。障がいのある方に限らず、辻堂市民センターに初めて避難してくる方々にとってもわかりやすいため、可能であれば早めに設置してほしい。  
→事務局で検討する。
- ・避難の順路だけではなく、避難生活をするを考えると、トイレへの順路などもあるとわかりやすいとの意見があった。

### (3) AEDの活用について

救急救命とAEDマップアプリを普及させる講習会を、3月3日9:30より実施することとなった。1月の全体会議にて委員に周知のうえ、参加者を確認することとした。

### (4) 辻堂まちづくり会議だよりの原稿について

辻堂まちづくり会議だよりの作成にあたって、福祉部会の活動についての原稿を確認した。

### 【意見等】

- ・ミニさんぽについても、掲載してほしい。
- ・障がいのある方の防災訓練についても掲載してほしい。できれば、市民センター見学の際の写真も掲載があるとよい。

### 2. その他

- ・地区全体集会について、参加者を募るため、各委員にチラシを配布してもらおうこととした。
- ・次回の部会にて、冒頭で「辻堂さんぽ」の振り返りを交流部会と合同で行うこととなった。

以上

次回部会：2023年2月9日（木）13時30分～

日時	2023年1月19日(木) 9:30 ~ 12:20
場所	辻堂市民センター 地区防災拠点本部室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 山出 <input checked="" type="checkbox"/> 若山 <input checked="" type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 開会 2 議題 (1) 地区全体集会について (2) 「辻堂まちづくり会議だより」について (3) はじめてのスマホ講座～i P h o n e編～について 3 その他 4 閉会
資料	・辻堂まちづくり会議全体集会 実施要領 ・辻堂まちづくり会議だより vol.13 発行に向けて ・はじめてのスマホ講座～i P h o n e編～チラシ ・辻堂地区全体集会チラシ ・委員作成による試作カルタ ・辻堂まちづくり会議だより vol.13 原稿

## 【議事録】

## 1 開会

## 2 議題

## (1) 地区全体集会について

事務局から実施要領に沿って説明を行い、【第2部】シン辻堂カルタ作りや当日の役割分担等を中心に検討を行った。

## ア 【第2部】シン辻堂カルタ作りの進行について

- ・カルタ作り説明の中で、「辻堂かるた」の紹介を行う。
- ・カルタ作り説明終了後、グループごとに「辻堂かるた」の体験を5分行う。
- ・「辻堂かるた」体験を5分行うことにともない、カルタ作りの時間を60分から55分に変更する。

## イ カルタ作りについて

- ・作成するカルタは、A4サイズの板目紙を用いる。
- ・絵札を作成する際の道具は、テーブルごとに用意する。

## ウ カルタ体験について

- ・カルタ体験は参加者全員で行う。
- ・密集を回避するため、絵札をドーナツ型に並べ、参加者はその中で円になる。
- ・読み札の読み上げは、参加者が順に行う。

## エ 当日の役割分担について

- ・役割分担は広報委員会委員を中心に行うが、全体会議において他の委員にも依頼する。
- ・主な役割は次のとおり  
司会進行・・・秋山副会長 主催者あいさつ・・・尾崎会長、カルタ作り説明・・・久保田委員、閉会あいさつ・・・小川副会長

#### オ 周知について

現時点での参加申込者が1人にとどまっていることから、周知の強化を次のとおり行う。

- ・Facebookでの周知を早急に行う。
- ・地域団体への周知を強化する。
- ・委員一人ひとりがチラシを多数持ち、声掛けを行う。

#### カ その他

- ・委員は、ユニホームのポロシャツを着用し、名札を身につける。
- ・1月全体会議において、実施要領に基づき確認を行う。
- ・2月広報委員会において、当日の進行など詳細について確認を行う。

#### (2) 「辻堂まちづくり会議だより」について

事務局から、作成した原稿に沿って説明を行い、内容確認を行った。

#### (3) はじめてのスマホ講座～iPhone編～について

- ・概要については次のとおり

日 時 3月7日(火), 8日(水) 午前10時～正午

場 所 辻堂公民館 第1談話室・第2談話室

周 知 広報ふじさわ1月25日号にあわせて地区内回覧

主催等 主催：辻堂公民館、協力：辻堂まちづくり会議、辻堂地区社会福祉協議会

- ・全体会議において、チラシを資料添付のうえ、事務局から報告を行う。

### 3 その他

#### (1) イベントに対する告知について

- ・募集期間が年末年始をまたぐイベントは注意を払う必要がある。
- ・申込状況を計画的に把握する必要がある。
- ・1月以降のイベントについて、公民館まつりで周知すべきだった。

### 4 閉会

#### 【今後の予定】

○1月全体会議 1月26日(木) 13:30～/ホール

○次回委員会 2月9日(木) 9:30～/地区防災拠点本部室

以 上

参加費  
無料

# はじめてのスマホ講座

## ～ iPhone編～

「スマホは持っているけど、操作が難しくて、電話しか掛けられない」  
「孫とLINEができるとうれしいな」「とにかくわからない」……  
こんな皆さんの希望やお悩みを解決します。  
今回は iPhoneの方限定です。

日時	内容
1日目 3月7日(火)午前10時～正午	初心者向けに、スマートフォンの使い方をいちからお教えします。最後はLINEをインストールしましょう。
2日目 3月8日(水)午前10時～正午	1日目にインストールしたLINEを自由に使えるまで講師が教えてくれます。



- 【場 所】 辻堂公民館 第1談話室・第2談話室  
【定 員】 両日とも参加できる方**20人**(定員を超えた場合は抽選)  
【申込み】 往復はがきで**2月16日(木)** 必着  
抽選後結果を返送します。  
※往復はがきの書き方は裏面を参照  
【講 師】 NPO法人 ITサロン藤沢

※今回は **i P h o n e** 利用者向けの講座です。

アンドロイドのスマートフォンをお持ちの方は受講できません。

※当日は検温、体調確認の上、発熱等の場合は参加を見合わせてください。

※当日はマスクを着用してください。

※感染症の状況等により中止することがあります。

※お車での来館はご遠慮ください。



【申込み・問合せ】 辻堂公民館  
〒251-0046 藤沢市辻堂西海岸2-1-17  
電話(0466)34-9151

【主催】 辻堂公民館 【共催】 デジタル推進室

【協力】 辻堂地区社会福祉協議会、辻堂まちづくり会議

# 令和4年度 辻堂まちづくり会議全体集会 実施要領

## 辻堂の今を未来へつなごう！

### ～発見・体験！シン辻堂カルタ作り～

#### 1 概要

目的	辻堂まちづくり会議について周知を図るとともに活動内容に興味を持っていただく。また、会議の場に加わることで辻堂への誇りや愛着を高めてもらい、活動への参加のきっかけを作る。
日にち	2023年2月12日（日）午後2時～4時 （1時45分開場）
会場	辻堂市民センター3階ホール
開催方法	ハイブリッド開催（Zoom ウェビナー利用）
定員	会場50人（先着順）
参加費	無料
内容	第1部 辻堂まちづくり会議の取組とこれから 第2部 シン辻堂カルタ作り
その他	手話・保育あり（申込制）

#### 2 タイムテーブル

14:00	開 会
14:00	主催者あいさつ
14:03	【第1部】辻堂まちづくり会議の取組とこれから <ul style="list-style-type: none"><li>・総括（2分）</li><li>・広報委員会（4分）</li><li>・辻堂交流部会（4分）</li><li>・福祉部会（4分）</li><li>・くらし安心・安全部会（4分）</li><li>社会貢献活動報告（防災）（4分）</li><li>・質疑応答（5分）</li></ul>
14:30	休憩（換気）
14:35	【第2部】シン辻堂カルタ作り <ul style="list-style-type: none"><li>・カルタ作り説明・「辻堂かるた」紹介（5分）</li><li>・「辻堂かるた」体験（5分）</li><li>・カルタ作り（55分）</li><li>・カルタ体験（20分）</li></ul>
16:00	閉 会

### 3 内容

- (1) 【第1部】辻堂まちづくり会議の取組とこれから  
各委員会、部会から次の内容について報告を行う。
- ・令和4年度実施事業について
  - ・令和5年度実施予定事業について（公民館まつり「気になる木」を踏まえて）

(2) 【第2部】シン辻堂カルタ作り

ア カルタ作り

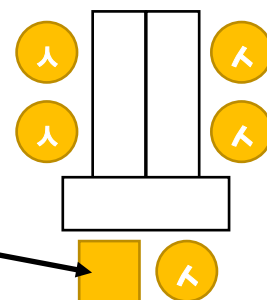
- ・「辻堂かるた」の紹介を行う。

イ 「辻堂かるた」体験

- ・グループごとに「辻堂かるた」の体験を行う。

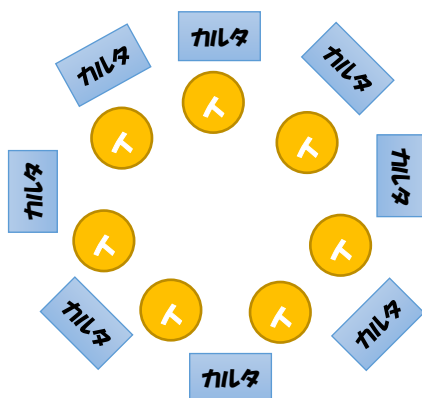
ウ カルタ作り

- ・1グループの参加者は最大5人までとし、グループごとにカルタ作りを行う。
- ・作成するカルタは、A4サイズの板目紙を用いる。
- ・絵札を作成する際の道具は、テーブルごとに用意する。
- ・委員はコーディネーターとしてグループに参加する。
- ・参加者は読み札と絵札の両方を作成する。



ウ カルタ体験

- ・カルタ体験は参加者全員で行う。
- ・密集を回避するため、絵札をドーナツ型に並べ、参加者はその中で円になる。
- ・読み札の読み上げは、参加者が順に行う。



#### 4 委員の主な役割分担（敬称略）

会場準備	全員（委員集合 午後1時）				
駐輪場（2人）					
受付（4人）					
司会進行	秋山				
開会	司会				
主催者あいさつ	尾崎				
【第1部】辻堂まちづくり会議の取組とこれから					
報告	（総括） 尾崎	（広報） 伊藤	（交流） 秋山	（福祉） 池本	
	（くらし） 山田	（社会貢献活動） 片桐 来夢 氏			
【第2部】シン辻堂カルタ作り					
カルタ作り説明	久保田				
カルタ作り コーディネーター （10人）	伊藤	小川	秋山	尾崎	
カルタ体験進行	久保田				
閉会あいさつ	小川				
片付け、掃除	全員				
マイクランナー （事務局2人）	（新倉）	（守谷）			
Zoom 確認 （事務局）	（片山）				

#### 5 周知方法

- 広報ふじさわ12月25日号にあわせて全戸配布
- 辻堂ドットコム
- Facebook
- 地域団体へ出席を依頼する。
- 委員による声掛け

## 6 参加申込

### (1) 申込方法

- メール、電話、Fax のいずれか  
電話 0466-34-8661  
Fax 0466-34-4187  
Email fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp
- 名前、年齢、住所、電話番号をお知らせいただく。
- オンライン参加の方はメールで申込み、その旨を明記していただく。

### (2) 受付開始

1月10日（火）～

### (3) 手話が必要な方

1月30日（月）までにお申込み

### (4) 保育が必要な方

- 1歳6か月～未就学児が対象
- 5人まで受入れ可（先着順）
- 1月30日（月）までにお申込み

## 7 新型コロナウイルス感染症対策

- マスク着用の徹底
- 手指消毒の徹底
- 当日は受付で検温を実施し、37.5度以上の発熱や体調不良が認められる場合は参加をご遠慮いただく。

## 8 その他

- 参加者アンケートを実施する。
- 参加者には、記念品（ウェットティッシュ、ロゴシール、缶バッジ）をお渡しする。
- 実施事業等に関する報告資料（パワーポイント）は、部会ごとに作成する。  
（1月末まで）
- 委員は、ユニホームのポロシャツを着用し、名札を身につける。
- 公民館まつりで使用したパネルを用いて、ホワイエで活動報告を行う。

以 上

# 救急救命講習とAEDマップアプリ講習会

<日程>

2023年3月3日(金)9:30~12:00

<場所>

辻堂市民センター 和室・保育室

<目的>

救命処置法とAEDマップアプリの取得方法を学ぶことで、AEDの活用を促進する。

<内容>

- ・救急救命課による救急救命講習  
⇒倒れている人を発見した時に必要な救命処置について学ぶ。
- ・湘南工科大学学生によるAEDマップアプリ推奨アプリとインストール方法  
⇒AEDの手配を要求された際に、設置場所を確認するためのアプリの取得方法を学ぶ。

<タイムスケジュール>

開会あいさつ	5分
救命処置	90分
休憩	(30分)
アプリ取得	20分(居残りあり)
閉会のあいさつ	5分

<参加申込>

修了後、救急救命課から交付される修了証の作成のため、参加連絡票の提出をお願いいたします。

**提出期限： 2月9日(木) 事務局まで**

きりとり

## 救急救命講習とAEDマップアプリ講習会 参加連絡票

氏名	受講歴	再受講者は修了証番号 を記入
	有・無	

※過去に受講の経験がある方は、お手持ちの修了証に記載されている修了証番号の記入をお願いいたします。

あ アメリカか？  
 こは辻堂  
 西海岸

辻堂まちづくり会議

おいしいね。  
 湘南はまぐり  
 ながらみも  
 たべてニッコリ  
 フジどう  
 いいね

す 進めたよ  
 駅前車道の『3車線化』  
 渋滞改善

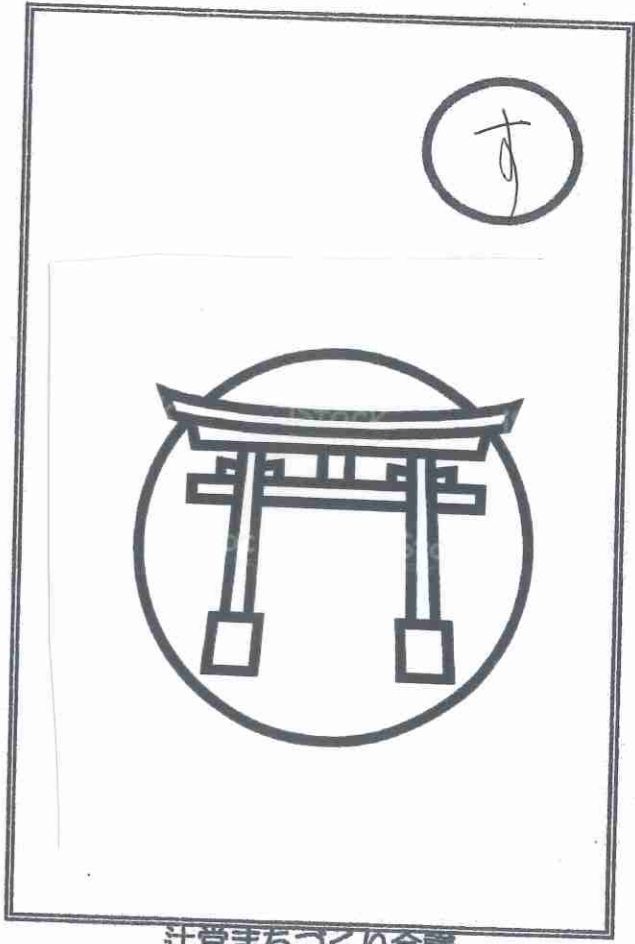
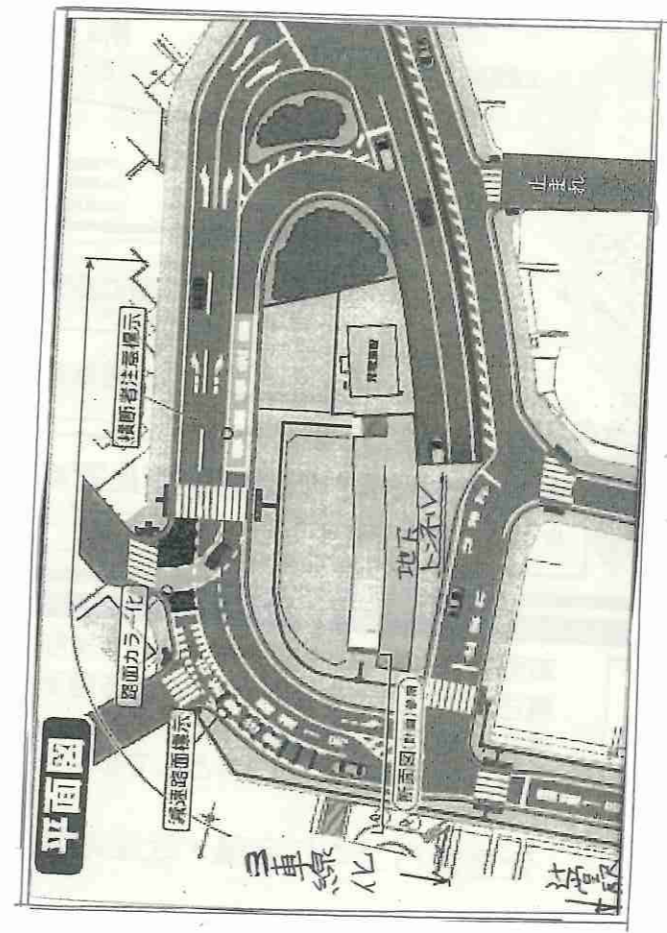
辻堂まちづくり会議

す 諏訪神社  
 鐘のきの  
 行列でさる  
 お正月

辻堂まちづくり会議



辻堂まちづくり会議



辻堂まちづくり会議


た 楽しく歩ける  
歩道にはら女心安全  
の工夫を一杯

辻堂まちづくり会議

ち ちよんぼり山  
津波避難に最適だ

辻堂まちづくり会議

つ つじどうと鶴沼わける  
31 地川



辻堂まちづくり会議

は はつきがん  
初祈願  
せかいへいわ えきびようたいさん  
世界平和に疫病退散

辻堂まちづくり会議

た



空地に  
ポケット  
パークを

ガーランド

歩道 車道

辻堂まちづくり会議

は



辻堂まちづくり会議

初

日の出

水平線より


光  
ぞる

辻堂まちづくり会議

は

染見山

山(富士)はみえても

染みえず  


辻堂まちづくり会議

ふ

い山

見ながら

サーフィンだ

辻堂まちづくり会議

は

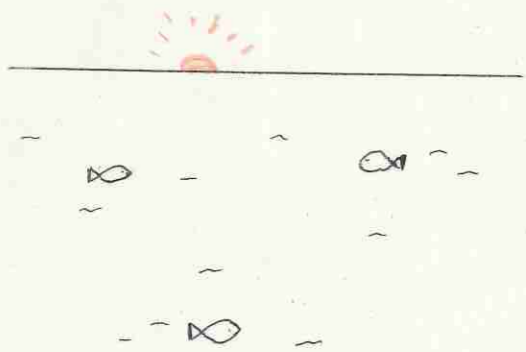
るでもなつでも

あきでもふゆでも

ビーサンのまち  
フレンドウ

辻堂まちづくり会議

初



辻堂まちづくり会議

は



辻堂まちづくり会議

ほ  
 ほうせんじ  
 宝泉寺  
 ギンナンの  
 なる木が多い  
 七南のり寺

辻堂まちづくり会議

ま  
 守りたい  
 松の林と  
 辻堂プラウド

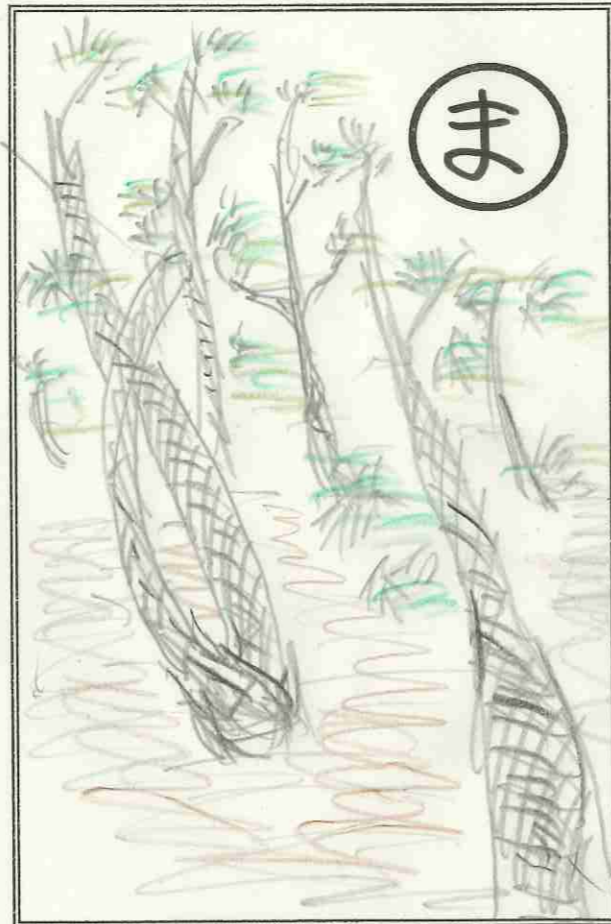
辻堂まちづくり会議

み  
 みんなが集う  
 辻堂市民センター

辻堂まちづくり会議



辻堂まちづくり会議



辻堂まちづくり会議



辻堂まちづくり会議



開催期間 **2023.1.20** FRI - **1.29** SUN

参加方法

STEP 01

右のQRコードを  
読み込み  
スタンプラリー  
スタート!



STEP 02

開催期間中に対象の  
59店舗に設置の  
QRコードで  
3スタンプ集めよう!

STEP 03

3スタンプ集めたら、  
応募フォームに  
必要事項を  
入力して送信してね。

※何回でも応募は可能です。

STEP 04

開催期間終了後、ご当選者には応募フォームに  
入力いただいたメールアドレス宛に当選の  
ご連絡をいたします。  
そちらの画面を持って、景品お渡し場所  
にお越しください。

抽選で  
どちらかが  
当たる!

オリジナルバケース付トートバック  
&  
オリジナルジップ付マスクケース  
セット

**350名様にプレゼント!**



OR

テラスモール湘南 商品券1,000円

**30名様にプレゼント!**

※景品はお選びいただけませんのでご了承ください。



開催期間 **2023.1.30** MON - **2.12** SUN

### 参加方法

#### STEP 01

右のQRコードを  
読み込み  
スタンプラリー  
スタート!



#### STEP 02

開催期間中に対象の  
59店舗に設置の  
QRコードで  
3スタンプ集めよう!

#### STEP 03

3スタンプ集めたら、  
応募フォームに  
必要事項を  
入力して送信してね。

※何回でも応募は可能です。

#### STEP 04

開催期間終了後、ご当選者には応募フォームに  
入力いただいたメールアドレス宛に当選の  
ご連絡をいたします。  
そちらの画面を持って、景品お渡し場所  
にお越しください。

抽選で  
当たる!

オリジナルバスター付トートバック  
&  
オリジナルジップ付マスクケース  
セット

**350名様にプレゼント!**



令和4年度 郷土づくり推進会議 地区交流会  
議事要旨

と き 11月29日(火) 午前9時から11時  
ところ 市役所本庁舎8階 8-1、2会議室

= 目 次 =

六会・片瀬・長後グループ  
「若い世代や新しい層を取り込む  
特色ある地域活動について」  
・・・・・・・・ 1 ページ

明治・鶴沼・藤沢グループ  
「若い世代や新しい層を取り込む  
特色ある地域活動について」  
・・・・・・・・ 4 ページ

御所見・遠藤・辻堂・村岡グループ  
「地域の活性化・自治会加入率について」  
・・・・・・・・ 7 ページ

善行・湘南大庭・湘南台グループ  
「郷土づくり推進会議のあり方について」  
・・・・・・・・ 10 ページ

理事者コメント  
・・・・・・・・ 13 ページ

## テーマ「若い世代や新しい層を取り込む特色ある地域活動について」

六会・片瀬・長後グループ

### 【参加者】

藤沢市：鈴木市長・日原参事（市民自治推進課・ファシリテーター）

六会地区：佐藤議長・林委員・江添センター長

片瀬地区：畠山会長・徳江副会長・横田センター長

長後地区：井上議長・伊礼副議長・松森センター長・新井主幹（書記）

### 【議事要旨】

○若い世代、新しい層を取り込むために、各地区で行っている取組

- ・ふるさとカルタを作成し学校や学童に配布。カルタの使用を通して地域に六会の文化を浸透させていきたい。公民館まつりでは、大きなカルタを作って体験会として開催し好評だった。年度末には大会も企画している。12月にはイルミネーションに合わせてキャンドルナイトを実施する。11月にキャンドルホルダーを子どもたちが描いた絵で作成するワークショップも開催した。このようなイベント参加者が関連イベントに継続的に参加してもらえるようにしていきたい。また、地域の園児や中学校にもキャンドルホルダーを作成していただき、参加型のイベントとしている。さらに、センター・公民館休館日に作品展も実施予定。また、六会ふるさと音頭も普及していきたい。保育園には踊りの講師派遣もしているが、今後は小学生にも広めて将来的には地域に広がる大きな参加型イベントに繋げていきたいと考えている。（六会）

- ・コロナで大きなまつりが中止であったが、まつりに参加する若い世代に自治会を動かしてほしい。

片瀬ごま（年4回子供体験事業）。（片瀬）

- ・子育てメッセ（今年度は2回開催）。

電子申請予約で人数制限して安心して参加できる環境を作った。

郷土づくり推進会議の人材発掘部会で来年度にボランティアまつりを予定。

（長後）

○若い世代、新しい層を取り込む活動

- ・様々な団体の企画で、大学生、高校生など取り込み、イベントなどでブースをまかせることなどができている。藤沢総合高校のボランティア部は事業に参加することもあり、慶応の大学生は商店街とつながりを作っている。一緒に企画からやっていくという形でないとバランスよく世代交代していかないのではないか。（長後）

- ・ふるさとまつりでは公民館事業「われら少年少女体験隊」の一環で小学生が飲料販売でボランティア参加した。しかし、それは実行委員会として連携したものである。また、青少協やボランティアセンターなどもそれぞれの目的を捉えた活動をしている。郷土づくり推進会議としては、今年度は若い世代が公募で増えたこともあり、全体的にも年齢層が若返っている。そのような環境から、積極的に参加型のイベントを自らが企画し主体的に実行している。その一つにふるさとまつりのジャンボかるた体験会があり、当日は親子参加も含め多くの方にご参加いただき予定時間も延長する盛況ぶりだった。大いに楽しんでもらい六会の歴史を知っていただく良い機会となった。また、カルタ作成においては、藤沢養護学校の生徒さんや CSW を仲介に社会参加事業との連携によりご協力をいただきながら進めてきた。今後は小学校等への配布や体験会等を通して目指すは群馬県の上州かるたのように地域に根付いた郷土文化として育てていきたい。また、ふるさと音頭は、踊りの指導者の育成が終了したので普及啓発を積極的に行い、保育園・幼稚園・小学校の運動会や地区レクなどでも踊っていただけるように推進していきたい。(六会)
- ・片瀬には片瀬 J J B C (人材バンクセンター) があり、ボランティアをやりたい人のために体験会を行った。参加者が少なかったが成果は得られた。(片瀬)

#### ○各地区のボランティアセンターの状況

- ・六会ボランティアセンターは、コロナの関係で一定の制限はあったが現在は感染防止対策を万全にとって事業を進めている。郷土づくり推進会議とは別組織で登録制(利用・支援両方)。聞き取りをし、ボランティアができるかどうか、介護状態や介護事業所につながっているか、家族構成など調査してからボランティアに入る。介護保険制度のはざまを補う役割。原則無償だが、利用する側が有償の要望があれば人数に関係なく 2 時間最高 300 円を利用料としていただくこともある。賛助会費は募集していないが、利用者が自発的に納めていただいている。  
最初は郷土づくり推進会議アンケートから。立ち上げまで 2 年かけ、その後は独立して運営している。郷土づくり推進会議は立ち上げたら団体にまかせ、手放していくというスタンスを取っている。(六会)
- ・郷土づくり推進会議の 1 事業として。コーディネーターもいる。  
個人と個人をつなげるボランティアではない。その場合は『ボランティアしおさい』に回している。(片瀬)
- ・ボランティアセンター『なごみ』は、有償で郷土づくり推進会議とは別組織で社会福祉協議会が母体。統括する組織はない。  
高齢者が遊びに来たり、作品を展示したりしていた居場所が『なごみ』にうつ

った。過去開催したボランティアまつりにも参加した。(長後)

○ボランティアに対する意見など

- ・ボランティアをしてほしいという需要はあるが、それに対して供給ができるか、バランスが難しい。発展しすぎてボランティアだらけになる懸念もある。包括支援センターには、地域活動する団体が、何か気付きがあれば包括につなげる仕組みを作っている。地域そのものがどこかでつながっていれば情報の共有ができるのでは。(長後)
- ・ボランティア組織として、チーム **FUJISAWA2020** はマッチングするもの。情報発信の方法など工夫している。ボランティアは地域の温度差、特徴もある。(市長)
- ・隣近所の付き合いが薄くなっている。本来はそれがボランティアの基本。それがなくなっている時代になって、組織に頼らなければならない。自治会の活性化が難しい時代。(長後)
- ・向こう三軒両隣が難しい時代で、ボランティアセンターが必要になっている。(市民自治推進課)
- ・地域に愛着を持ってもらえ、地域で活躍することに満足感や生きがい生まれ、その活動に感謝する人が生まれていく、というようにうまく循環していければ。(市長)

以 上

テーマ「若い世代や新しい層を取り込む特色ある地域活動について」  
明治・鵜沼・藤沢グループ

【参加者】

藤沢市：和田副市長・赤坂課長補佐（市民自治推進課・ファシリテーター）  
明治地区：三觜議長・小池部会長・鳥生センター長・北川センター長補佐  
鵜沼地区：長瀬議長・渡邊副議長・山口センター長・小泉主幹（書記）  
藤沢地区：廣瀬議長・井出館長

【議事要旨】

各地区の取り組みについて

（鵜沼）三つの事業をやっている

- ・認知症（若年性、家族）の取り組み
- ・子供の居場所づくり（元気塾、元気広場）、高校生からの支援（卓球、ダブルダッチ）、夏休みに旅行
- ・郷土展示資料室
- ・まつりをやりたいと思っている。公民館まつりはすごく好評だった。鵜沼海岸駅周辺はまつりがないので、町内会主導のまつりを手探りだが、やっていきたい。

（藤沢）子供に対しての見守りは下校時刻に合わせて月一で防犯パトロールをしている。鵜沼がやったという話を聞いて、こども 110 番のパネルの更新作業をやり、小学校に配りなおした。行政が相手をしてくれていないのを感じた。

交通安全については、警察から危険個所の情報をもらい、小学校に配った。高齢者については、ICT を活用した見守りを検討中。

- ・鵜沼で 110 番の見直しをした時の問題点として、防犯協会等に活用しやすいように働きかけをしたが、警察が関わっており、うまく進まなかった。（鵜沼）

（明治）明治ふるさとまつりは全体の人に来てもらうように周知を図った。自治会加入率については、なかなか大変ではあるが大型マンションの自治会加入についても、入ってもらうように進めている。

- ・デジタル化なども活用して、地域の情報が伝わる工夫をしなければいけない時代となってきている。高校生なども手伝ってくれている流れがある。（市民自治推進課）

- ・藤沢駅近くはマンション、南は戸建てという特性がある。住民の数が多すぎて、学区が崩壊している。鵜沼、鵜洋、鵜南とあるが、選択制あり、辻堂の人口増加ありで鵜沼の子が大道小や新林小に通学するなど、一堂に会する機会がなくなっている。マンションのセキュリティも時代とともに変わり、住民同士のつながりの希薄化に拍車をかけている。新聞を取らない時代になり、周りからみて気づくきっかけも減っている。とにかく集まるしかないのではないかと思っている。(鵜沼)
- ・古い町並みであったが、マンションが増加、新旧世代の交流ができていない点から、課題として上げた。子育てメッセなどイベント実施、LINEで回覧板を活用して発信している。自治会に代わって情報提供できるようにHP、SNSを積極的に活用している。(明治)
- ・SNSはどのくらいの自治会がやっている？(鵜沼)
- ・今は1団体(明治)
- ・回覧板は見ないという問題がある。配布依頼のチラシが多すぎる。回し方に工夫がいる。(藤沢)
- ・行政としては耳が痛い。共通点として、SNSはいいが、イベントがあるといいかと思われる。(市民自治推進課)
- ・自治会未加入の世帯には広報や交付金等はどうなっている？自治会費をもらわずに引き留めている人もいる。防災訓練なども参加しない人のほうが多い。自治会に入っていないけど、必要な時だけ自治会長のところに来る人もいる。(明治)
- ・SNSをやるにしても地域で教えてくれる人材の発掘も大事。(市民自治推進課)
- ・自治会に入る、入らないの話になってしまうが、自治会に入ることのデメリットが多いと感じる人がいる。これといったメリットもない。防災問題ですら、今の人には通じない。会費や役員負担などのデメリットをどうなくすかというところも難しい。(藤沢)
- ・古い人が相続でいなくなったので、昔ながらのつながりも薄くなっている。回覧板でなく、掲示板(デジタル看板)を立てたほうが良い。今はいろんなイベントを掲示板のみの周知でやる取り組みをしている。そのほうが回覧問題の解決にもつながる。回覧の中身を精査する必要もある。モデル地区を作ってやってみてはいかがか。(鵜沼)
- ・29歳の人が郷土づくりに入り、HPを立ち上げてくれた。(若い人が入ると変わる。)(藤沢)
- ・お祭りについては明治も3年ぶりにふるさとまつりを実施した。コロ

ナ対策が一番の課題となっている。従来なかった、飲食コーナーをテント6張り作って、誘導するなど工夫した。二日目は倍の人員が来るなど、イベントを求めている。(明治)

- デジタルと対面の両面が必要。デジタルを進歩させる必要はあるが、デジタルだけで伝わらない面もある。双方補完しながら進めていかないといかない。デジタルサイネージは面白いアイデアだと思う。(副市長)

以 上

テーマ「地域の活性化・自治会加入率について」  
御所見・遠藤・辻堂・村岡グループ

【参加者】

藤 沢 市：宮治副市長・定松課長補佐（市民自治推進課・ファシリテーター）  
御所見地区：荏田議長・角田副議長・須藤センター長  
遠藤地区：三田会長・伊澤副会長・若宮センター長  
辻堂地区：尾崎会長・小川副会長・加藤センター長・中丸主幹（書記）  
村岡地区：渡場議長・大森副議長・石塚館長

【議事要旨】

①若い世代の地域活動への参画

- ・子どもが参加できる活動で若い人たちの交流が図られている。（辻堂）
  - ・若い人が中心となる事業として「ハロウィン」を実施した。今後も若い力が必要となるような事業を行っていく。（村岡）
  - ・先月アンケート調査をしたので、その分析をして、まちづくり事業に取り入れていく。（村岡）
  - ・子ども対象の事業として、ヒマワリを種から育て、大きく育ったら迷路になるように少年の森に植えた。育てることと、迷路を使った事業を実施した。（御所見）
  - ・若い世代は自治会や地域活動に対して、忙しくて大変なイメージを持っているので、それを払拭しないといけない。（御所見）
  - ・子どもと親が参加できる活動をもっとアピールしていかないといけない。（御所見）
  - ・郷土づくり推進会議は何をやっているのかと質問されることがあるので、知っていただくために「御所見カレンダー」を作った。（御所見）
  - ・自治会加入率が低いので、新しい方には地区の行事への参加を促している。（遠藤）
  - ・小中学生を地区の行事に参加してもらえるように考えている。そこから親の参加に繋がることに期待している。（遠藤）
  - ・自治会に加入したら役員をやらされると特に高齢単身者は思い、若い人は魅力がないと思っているようで、自治会に加入していないと回覧が回らないので、なおさら知ってもらえない。（遠藤）
  - ・社体協の夏まつりは、自治会加入者でなくても参加できるが、抽選会は加入者だけにした。また、地区のレクリエーション大会は、自治会に加入していなくても参加できるように、小学生にチラシを配布したが、抽選会は加入していないと対象にはならないと条件を付け、少しでもメリットを感じてもらうようにした。（遠藤）
- 子ども対象の事業を行い、そこに若い世代の保護者が一緒に来ることで、若

い世代の方に地域の活動に興味を持っていただき、のちには役員などに参加してもらいたいと考えている。(4地区共通意見)

## ②自治会加入率低下への対策

- ・辻堂地区では半数以上が移住の方だが、加入率は70%台。まちづくり会議として新たなことは行っていないが、それぞれの自治会が取り組んでいる。(辻堂)
  - ・村岡地区は加入率が減少している。戸建てにお住まいの方は比較的加入しているが、賃貸のアパートやマンションにお住いの特に单身の方は加入していない人が多いように思う。防災や様々なことを地域で取り組んでいるが、单身の方がどこまで関心があるのか。(村岡)
  - ・地域ではいろいろな取組を行っているが、行政に加入率増の取組をしていただきたい。(村岡)
  - ・「以前は自治会に加入する意識がなかった」という声があった。(御所見)
  - ・地域の安全安心に自治会がどう関係しているのかが知られていない。(御所見)
  - ・自治会に加入するかどうかを、メリット・デメリットで考えている。デメリットは、役員になると忙しいこと、メリットは何か。今の時代、核家族や高齢者に対して自治会加入のメリットを示せないと加入率は上がらないのではないか。(御所見)
  - ・防災や地域との交流などメリットの説明をしないといけないと考えている。(遠藤)
  - ・「加入を勧められたのは初めて」と言われることがある。新しく転入してきた方には、声をかけていかないといけない。(遠藤)
  - ・自治会加入についてのメリット・デメリットについては、個人によって価値観が違うので難しいと思う。一つの基準で判断できない。メリットは、地域との交流がなくなることによる「孤立化しないため」と考えている。(村岡)
  - ・同じ地区内でも、自治会の中には世帯数が少なくなり衰退しているところもある。自治会の特色もあるので一概には言えないと思う。(辻堂)
  - ・自治会加入は強制ではないが、災害時要支援者に手を挙げる人の2割は未加入者。その2割の人を自治会が対応することは難しい。行政が加入を支援すべき。(村岡)
  - ・加入率が平均以上の地区は、どのような取組をしているのか、知りたい。(御所見)
  - ・秋の運動会の中でビンゴ大会を行ったが、ビンゴカードの配布は自治会加入世帯に限ったことで差が生み出せた。あわせて加入の声かけも行った。(遠藤)
- (宮治副市長)①②について、子どもを対象とした事業を行うということは、4地区共通のようだが、反面、自治会加入率低下の要因の一つは、行事が多

すぎる。多くの人が参加できるように考えないといけない。役員が出席しないといけない行事の精査が必要。コロナにより2年間活動が止まっていたので、この機会に見直してはどうか。強制加入とできない中で、加入するメリットを模索しなければならない。遠藤地区の自治会加入を条件にする取組はよいと思う。

### ③（北部）地域の活性化

- ・まちづくり会議が末端行政の受け皿になっているように感じる。イベントをやるだけでいいというわけでない。地域の中から専門家を探し出すことも必要。コミュニティとしての活動に取り組んでいかないといけないと思う。（辻堂）
  - ・個々の自治会を見ると役員が高齢化してきて事業ができないところがあるので、まちづくりとして大きな地区で周辺の自治会を巻き込んで事業を行うことで、自治会役員の負担を軽減している。（村岡）
- ※③は時間の都合上、ここまでで終了となった。

以 上

テーマ「郷土づくり推進会議のあり方について」  
善行・湘南大庭・湘南台グループ

【参加者】

藤 沢 市：平井市民自治部長・森主幹（市民自治推進課・ファシリテーター）  
・小林（同左・書記）

善行地区：渡邊議長・池田副議長・木村センター長

湘南大庭地区：時津議長・波多野副議長・矢内センター長

湘南台地区：河合議長・中原副議長・大久保センター長

【議事要旨】

○郷土づくり推進会議のあり方とその周知、啓発について、地区内での存在や他団体との関係性、周知、啓発における工夫などについて

・情報発信しても、受け手はその時に受け流しておきながら、後からそのことを問い合わせてくることがある。（善行）

・概ね同じ状況。色々な仕掛けは行っている。郷土づくり推進会議の存在はあまり知られていない。リピータもいるので従来事業も残しつつ、新規事業により気になってもらうことを増やす（湘南大庭）

・子育てメッセや七夕まつりなどは賑わっているが、郷土づくり推進会議の存在感はなさそうである。広報はある程度の人は見ているのかなという印象。（湘南台）

○情報発信について

・毎年度末に、広報紙（善行ふれあいだより）を発行し、各戸配布している。（善行）

・郷土づくりのたよりを10/1に出した。不定期でも。紙面には委員の考える課題を載せている。ポータルサイトも開設している。（湘南大庭）

・行事の開催前には回覧している。時代に合わせた周知方法も必要だと考えている。（湘南台）

・ポータルサイトの閲覧数は不十分。スマホでも見やすいつくりにすることや、サイトがあること自体の周知も必要。（湘南大庭）

・情報の伝達に漏れがないようにしたい。隣近所で声を掛け合うなどの付き合いがあるといい。ポータルサイトは若い人向け。今は近所付き合いもシャットアウトしがち。接点がないと困りごとの吸い上げも困難。（善行）

○他団体との関係

- ・各団体でやり方があるので、郷土づくり推進会議を構成する委員にその団体の出身者がいることが、必ずしも物事を円滑に進めることにつながるわけではない。協働することの難しさもある。(善行)
- ・それぞれの団体でできないことをやるのが、郷土づくり推進会議という会議体。他団体が新しいことは始めづらい中、やれないことを郷土づくり推進会議が受け持つ。(湘南台)
- ・他団体から推薦して委員が決まるのは助かる反面、何かやるときに顔色を伺いながらになることもあった。(湘南大庭)

#### ○郷土づくり推進会議の認知度

- ・自治会を通じてアンケートを実施。1割程度の回答。地域の団体である自治会を通じてやっていることなのに、理解されていないことに残念。(湘南大庭)
- ・定着しないことのひとつに、名称の変更もあるのではないかと。くらしまちづくり会議、地域経営会議、郷土づくり推進会議と移っているとわかりづらい。(湘南台)

#### ○地域活動にいかに関心をもちたいか

- ・10月にまつりがあった。数多くの子供が参加していた。子供と一緒にその家族も巻き込まれて参加していた。(湘南大庭)
- ・子供たちが地域のまつりの中心になっている。飲食がなくても人は集まる。駅前の商店会が善行マルシェを開催し、物販やキッチンカーなども出店した。ねんりんピックと合わせたこともあって大盛況であった。(善行)
- ・イベントにはそれぞれの固定客がいる。子育てメッセや七夕まつりなどは、それぞれ単発のイベントとしての盛り上がりにとどまるが、喜んで参加してくれるイベントは続けながら、マンネリ化防止のために新しいことは考えていく。(湘南台)

#### ○公募委員

- ・9人でスタートした。(湘南大庭)
- ・3人が公募で、15人は団体や企業から出してもらっている。(善行)
- ・8人の公募と12の団体から出してもらっているが、30人の定員には満たない。(湘南台)

#### ○郷土づくり推進会議への帰属意識の薄さ

- ・団体をかけ持っている委員は郷土づくり推進会議への帰属意識が薄く、委員

の何人かは「団体代表として出て欲しい」と言われたからしょうがないという姿勢である。今年の公民館まつりは、例年民生委員が出していた模擬店ブースを、かわりに郷土づくりで出店した。それぞれの団体で出店している委員は、そちらを優先してしまう。団体の台所事情が厳しいのも理解できるので責められないが、もう少し郷土づくりに関わりをもってほしいというのも正直なところ。その団体との連絡窓口として活躍してもらいたい。(湘南台)

- ・すべて公募としたときに、これまで積極的に会議に参加し、バランス感覚も優れていると感じていた方々が、公募にしたら来なくなったということがあった。公募でより人を集めるためには、会議の開催方法の見直しが必要で、オンラインにしたり、メールで書面での開催にしたり、時間と場所を限定しない方法にする必要がある。(湘南大庭)
- ・郷土づくり推進会議の中で、研修があるといい。郷土づくり推進会議自体の質の向上や、別の団体での活動でも活かして、そちらへも還元できる。(善行)

#### ○その他

- ・発信の仕方にも工夫が必要。駅利用者の目に触れるように掲示板を活用する。センターの利用者も多いからチラシを置く。民間施設も活用するなど新しい形を目指す。ボランティア養成講座を企画しても最少催行人数を下回って中止することも。一方で公民館の事業は抽選になるようなものも多い。その機会を利用して、そこで周知していくやり方も必要。(湘南台)

#### ○終わりに

- ・地域差があって、これでなければならないという形はない。アナログやデジタルなど今は併用しなければならない時代。若者はデジタルのほうがなじみやすいかもしれない。市としてDXを推進している。市民センター、公民館のツールも活用しながら、地域の中で意見を出してくれる方々との接点を増やしてもらい、違った視点からの意見が出てほしい。様々なチャレンジをする中で、何かあればセンター長を通じてご意見をいただきたい。団体の皆さまは長年地域で活動をしていて、しがらみなどから、色々と発意をしてもすり合わせが難しいときもあるのではないのかと思う。その間に入るのは市民センター、公民館の役割のひとつでもある。いいアイデアがあっても、それがつながらないと残念。形になるように協働して進めていきたいと思う。  
(市民自治部長)

以上

## 理事者コメント

(鈴木市長) それぞれの地域に歴史や文化、伝統がある。そういったことを知って、愛着をもっていただいで、地域に近づいていただくことがまず一歩なのかなと。生活様式も多様化していて、テレワークで通勤時間がなくなってきたおかげで時間が生まれた。この時間を利用して、先に紹介したチームF U J I S A W A 2020の活動の中にもあったが、1年を通して取り組むのが難しくても、スポット的にビラ配りだけに参加するなどの貢献の仕方がある。参加していただく機会は広く発信していくので、やりたいことを見つけてもらいたい。自治会町内会の組織率の課題については、市内でも数にばらつきがあり、地域ごとに状況は違うのでそのまま活かせるわけではないが、意見交換しながら取り組んでいただきたい。郷土づくり推進会議は地域を広い視野で見て、課題を捉える役割。各団体は専門性が高いので、その視点で取り組んでいただく。全体的な視野で足りないところを補い合いながら、地域の特徴を伸ばしていき、それぞれの課題を解決することが重要。情報共有をしながら前に進めていってほしい。

(和田副市長) 地域においてイベントを開催することは重要。担い手が不足しているという課題はどこも直面している。回覧板を回すこと自体が、もうすでに負担で困難であるという認識をしたところ。その他にも色々な話題に触れて、短い時間ではあったがとても有意義な時間であった。交流会の形式について、これまでは13地区の各地区の取組や特色を紹介しあって、そこからヒントをもらうような形式で行われていたのを、今年はその部分を資料配布とした。また、昨年はコロナの影響でリモートにて同様の発表形式で行った。今年初めて、対面で、討論型での開催とし、顔が見える形で、発言者の熱意も伝わりやすいようなもので、いい取組であったと感じた。課題としては、グループごとの座席が近すぎて他のグループの声がよく聞こえてしまい、妨げにもなっていたので、別室で分かれてやるなどの工夫が必要だと感じた。方向性としてはいい取組であったので、様々な課題を解決しながらさらに発展させていってほしい。

(宮治副市長) 私のせいで議論が最後までたどり着かなかったので、この場を借りて藤沢北部の宣伝をしようと思う。北部の活性化が討論テーマの一つであった。市でも健康寿命日本一を目指している中で、何がいいかという、歩くプロジェクトがあって、市長も先頭に立って取り組んでいる。市内にも色々と散歩コースはあるが、西北部も充実している。最近では笹窪谷公園がある。富士山も絶景。まずは今日出席している皆さんが足を運んでいただいで、いいところだったよと地域に持ち帰っていただいで広めていただきたいと思う。

以 上

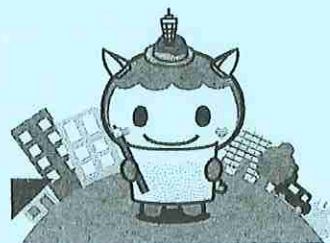
男に生まれて 女になって 結婚もできました

# 私の人生を変えた2人の母の言葉

オネエとして、中性として、セクシュアルマイノリティとして、生きるこの人生は  
人とは違う生き方だけど、それは「可哀想な生き方」ではない。

日時 2023年2月4日(土)  
10時～12時(受付開始9時45分)

会場 辻堂市民センター 3階ホール  
(藤沢市辻堂西海岸2-1-17)  
定員 65人



講師 よしい なな 吉井奈々氏 一般社団法人JCMA  
代表理事 コミュニケーション講師

申込み 電子申請にて 2023年1月11日(水)～2月3日(金)  
右の二次元コードからお申込みください。  
※定員になり次第受付を終了いたします。



その他

- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止となる場合がございます。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館前に検温していただき、37.5度以上の発熱または風邪の症状がある方は、ご参加いただけません。
- ・マスク着用の上、ご参加ください。
- ・車でのご来場はご遠慮ください。
- ・駐輪場が狭いため、できるだけ公共交通機関でご来場ください。

主催 高浜地域子ども支援会議  
ネットワーク湘南堂夢  
辻堂地区青少年育成協力会

問い合わせ 辻堂市民センター 地域づくり担当  
電話:(0466)34-8661  
メール:fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp

